

一般社団法人市民連帯経済つながるかながわ

住所：横浜市中区南仲通4-39 石橋ビル4階 E-Mail: info@tsunagaru-kanagawa.org

TEL: 045-211-4667 FAX: 045-662-4306 開所時間：9時30分～17時

参加団体(6月末) ◆ 正会員 87団体 ◆ 賛助会員 11団体



◀HP



◀Instagram



◀Facebook

Contents

- もうすぐ合流！
NPO法人ワーカーズ・コレクティブ協会
- 探訪記番外編「つながるかながわ総会」
- つながるかながわ生活クラブ まちづくり基金
- 新しいワーカーズ・コレクティブ紹介
「ハートBox」
- つなかなおトク情報

つながるかながわでは「支援」「ネットワーク」「事業」の3つのセクションが連携して活動しています。
今号では、今後「事業」セクションを担うワーカーズ・コレクティブ協会をご紹介します。



もうすぐ
合流！

特定非営利活動法人

ワーカーズ・コレクティブ協会

ワーカーズ・コレクティブ協会とは

ともに働き・暮らし続けられる地域社会を目指し、2004年5月に設立。以降、就労支援をはじめ、地域に寄り添った多くの事業を手掛けています。例えば…



おたのしみサロン (2事業合同)

はたらつく・ざま (就労準備支援事業)
みんなの居場所 ここから (ひきこもりサポート事業)
風の谷 ハーブ畑 gardenbaum で読み聞かせ



体験実習

はたらつく・ひらつか (就労準備支援事業)
農家のハウスでグループ体験実習



子どもたちの学習支援

はたらつく・ゆがわら (わらわら・ゆがわら)

若い大学生ボランティアは、子どもたちにとっては身近な将来のモデル



おたのしみサロン

はたらつく・あやせ
(就労準備支援事業)

みんなの居場所 ぽーこあぽーこ
(ひきこもりサポート事業)

クリスマス会



個別支援級の生徒さんの 職場体験

反町カフェぽらん



共に働く

くらしのサポート事業「はっぱい&キャリアー」

北新横浜の倉庫での、タンスの解体作業
(ワーカーズ・コレクティブ・キャリアーとのコラボ事業)

ワーカーズ・ コレクティブ協会の これまでとこれから

2004

設立のころ

ワーカーズ・コレクティブ協会は、ワーカーズ・コレクティブ (W.Co) の働き方を社会にアピールし、新しい公共づくり（行政だけでなく市民も公共サービスに参入する）を目的に、神奈川 W.Co 連合会から分離・独立して2004年5月に誕生しました。W.Co 運動をさらに発展させるため、中間支援組織としての役割を神奈川 W.Co 連合会と分け合い、車の両輪として連携しながら活動してきました。

2013

横浜市での受託から各地に拡がった「はたらっく」

設立のころに W.Co で行った職場体験実習が横浜市から高い評価を受け、2013年に横浜市の就労準備支援事業を受託しました。

その後、生活クラブ生協との共同企業体形式で、座間市(2017年)、足柄下郡(2019年)、平塚市(2021年)、綾瀬市(2023年)などでも事業を受託。「はたらっく」として活動しています。

2024

就労支援からまちづくりへ、そして「つながるかながわ」設立

就労準備支援事業で生活クラブと協働したことで、組合員＝地域市民がサポーターとして生きづらさを抱えた方たちと関わるようになり、就労支援から「まちづくり」＝社会的連帯経済へと活動は広がっていきました。そのなかで、W.Co だけで活動するのではなく、生活クラブ組合員も参加できる新しい中間支援組織の必要性を感じて、「つながるかながわ」設立に関わりました。受託事業の関係で「つながるかながわ」への合流は遅れていますが、協定書を交わし、今後を見据えて協会の理事・スタッフもつながるかながわの活動に参加しています。

「つながるかながわに入って やりたいこと」を 松川さんに聞いてみた！

つながるかながわの理事でもある、ワーカーズ・コレクティブ協会専務理事 松川由実さんに、つながるかながわと合流後の事業展開について、お話を聞きました。

「はたらっく」は、生活クラブの組合員と共に活動しています。今後は横浜や川崎でも「はたらっく・よこはま」や「はたらっく・かわさき」をつくり、組合員との協働を拡げていきたいです。

各「はたらっく」には、利用者を応援する世話焼きおばさん・おじさんが活躍しています。ごまでは「S³スターズ」が季節を楽しむサロン、ものづくりなど企画実施。ゆがわらでは、「おたすけ隊」が引っ越し時に足りない家電などを仲間によびかけて集めたり、フードシェア（集めて配る）にまで活動を拡げています。ひらつかでは、就労支援のプログラムとは違った「居場所のんびり」を運営するボランティアグループ「のんびりーズ」が誕生するなど、はたらっく各地に拡がっています。

また、若者の居場所兼働き場となっているワーカーズ・コレクティブはっぴいさんのように「障害があってもなくても共に働く」事業所も拡げていきたいです。

連合会と役割を分けて、試行錯誤しながらたどりついた就労準備支援事業は5つの自治体にまで拡大しました。ワーカーズ・コレクティブ運動から始まった就労準備支援事業は、市民も参加するまちづくりに発展しつつあります。20年間培った「人、もの、ネットワーク、ノウハウ」をつながるかながわに結集して、神奈川での社会的連帯経済の実態づくりに寄与していきます。



松川 由実さん

(NPO法人 ワーカーズ・コレクティブ協会専務理事)



市民連帯経済つながるかながわ

第2回 社員総会・記念講演会 開催

参加 出席:73団体 書面議決:10団体 合計:83団体/87団体のうち

議題 ①2024年度総括および2025年度方針 ③理事の補欠選出
②総会や役員運営に関わる規則 ④役員報酬の上限額
(すべて承認)

記念講演 駒澤大学教授 松本典子さん

「W.Coの社会的意義と連帯経済を生み出す協同組合としての可能性」

2025年6月13日(金) 13時～15時
横浜情報文化センター 情文ホール



昨年の設立総会に続き、第2回目の社員総会が開催されました。150名近い方の参加をいただき、会場となった情文ホールは盛況となりました。賛助会員団体を含め100団体を抱える中間支援組織の全員が集まる機会は、年に1度のこの総会だけです。

事務局としては昨年10月の始動から早や8カ月。業務の流れを作ることに精一杯であったと感じています。当初の想定通りに進まないことや、つながるかながわ生活クラブまちづくり基金などの新しい取り組みもありました。このような中で迎えた総会で、それぞれが経営者である社員の皆さまからどのようなご意見が出されるのかと、当日は緊張して臨みました。

総会ではすべての議案が滞りなく可決されましたが、主に「つながり」に関わる質問が出ました。生活クラブ神奈川から業務委託を受けているワーカーズ・コレクティブ(以下W.Co)とそうでないW.Coの差や、W.Coではない会員が「つながり」を持つ機会が少ないのではないか、など、。これに対し、篠崎みさ子共同代表からは「今後の課題として認識すると同時に、つながるかながわを設立したからこそ交換できた意見だと感じた」とコメントがありました。

神奈川W.Co連合会はW.Coのための中間支援組織でしたが、つながるかながわは支援の対象を上げ、W.Coだけでなく生活クラブ生協や、その他の非営利市民事業が互いにつながることを目的としています。事務局としてその変化への対応が十分にできていなかったことを反省するとともに、これから取り組んでいくべき課題が会員の意見として出されたことに、感謝の気持ちが沸きました。

総会後の記念講演では、松本教授の「構想と実行を分離させない組織づくりで『本来の労働』を取り戻す」という言葉が心に沁みました。改めてW.Coや非営利市民事業の社会的価値を感じることができました。



これまでの長い歴史を踏まえ、上で、変化していくことの大切さを感じた総会となりました。資本力によって競争力が大きく変わる時代です。AI化やデジタル化が進む中で、この「つながり」への投資をどれだけ大きくできるか。改めて、顔の見える関係性を大事にし「つながりの経済」によって、地域に必要な事業がこれからも持続していくことの必要性を感じました。つながるかながわは中間支援組織として、これからもその役割を果たしていければと思います。



つながるかながわ生活クラブまちづくり基金

基金助成団体募集中! 締切7/31

つながるかながわの会員団体には応募資格があります。応募説明会は終了していますが、アーカイブ配信もご用意しています。
募集要項をご希望の方は事務局までご連絡ください。

生活クラブまちづくり基金は、地域で行われるまちづくりへの、生活クラブ組合員の参加の形です。この活動の趣旨に賛同する生活クラブ神奈川組合員からの寄付(毎月100円)で成り立っています。まだ参加していない組合員の方はぜひご参加ください。



詳しくはこちらから

新しい ワークス・コレクティブのご紹介

ハートBox



新しい会員団体「ハートBox」

代表の落合純子さんにお話を伺いました。



落合純子さん

私たちはお弁当の配送(宅食)を活動の主として取り組んでいます。現在のメンバーは12名で30代から70代までの幅広い世代が一緒に働いています。昨年から実験的に配送をスタートし、まだ試行錯誤の段階ではありますが、採算性などの可能性が見えてきています。そこで、私たちにとって最も身近な働き方であるワークス・コレクティブという形を選び、つながるかながわに加入しました。

お弁当の配送に加え、昨年初めて取り組んだ農家さんからの野菜の運搬も、引き続き行いたいと考えています。また、フードバンクの食品の運送など、色々な新しい可能性にチャレンジしていきたいと思っています。今はまだ法人格も持っていませんが、これから少しずつ力を合わせ、軽トラックの購入や働きやすい環境の整備をしていきます。

「ハートBox」名前の由来…

お弁当の配送(宅食)を主としているため、「ハート」は私たちの温かい心と、「Box」はお弁当箱をイメージしています。



▲ 配達担当の湯本さん

▼ミズ・キャロット六角橋



つながるかながわは W.Co ハートBoxの チャレンジをとにもすすめます

写真は、配達するお弁当をミズ・キャロット六角橋に受け取りに来たメンバーの湯本さん。お弁当の受け取りの時も、配達先でも、みんな笑顔で暖かく迎えてくれるのが、一番のやりがいにつながると、教えてくれました。

つながるかながわ おトク情報

顧問弁護士のご紹介

河崎 健一郎さん (早稲田リーガルコモンズ法律事務所)

つながるかながわでは、弁護士、社労士、税理士と顧問契約を交わしており、会員の皆さまが初回相談無料 (30分程度) で士業の方々に相談できる体制をとっています。

今回は、顧問弁護士の河崎健一郎先生をご紹介します。河崎先生にはこれまでも、神奈川 W.Co連合会の顧問弁護士として、W.Coからのさまざまな相談にご対応いただきました。



Q W.Coでの利用者トラブルなどの他にも「こんな相談も受けられます」という例はありますか？

A 私はもともと経営コンサルタントで中小企業診断士の資格も保有しています。現在は主に営利・非営利の中小企業の顧問弁護士として、M&Aや合併なども含め、経営面・運営面での相談を受けています。

また当事務所は、市民の相談を受ける法律事務所としては全国最大規模で、37名の所属弁護士がいます。

つながるかながわの会員団体に所属するメンバーのご家族に関するご相談も、初回無料で対応できます。

Q 事業だけでなくメンバーの家族の相談にもご対応いただけるのですね！それは心強いです。

相談の依頼は…

つながるかながわWebサイト > 会員専用ページより「相談依頼書」をダウンロード

※ログインパスワードは事務局までお問合せください

編集
後記

たくさんの方々のご協力のおかげで、社員総会が無事に終わり、第1回「つながるかながわ生活クラブまちづくり基金」の応募受付がはじまりました。説明会の開催などを通じて、基金の重要性や基金への期待を改めて感じています。(田中入馬)

